



平成 18 年 1 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社ラック
代表者の役職氏名 代表取締役社長 三輪信雄
(JASDAQ・コード 4 3 5 9)
(U R L http://www.lac.co.jp/)
問 い 合 せ 先 取締役管理本部長 大橋洋一
電 話 番 号 0 3 (5 5 3 7) 2 6 0 0

平成 17 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年12月期(平成17年1月1日～平成17年12月31日)の業績予想について、平成17年11月11日付当社「平成17年12月期第3四半期財務・業績の概況(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 17 年 12 月期 通期業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	6,300	360	320
今回修正 (B)	5,840	180	150
増減額 (B - A)	460	180	170
増 減 率	7.3%	50.0%	53.1%
平成 16 年 12 月期実績	5,200	165	101

2. 修正理由

売上高は、セキュアネットサービス事業において、下期にかけて新たな需要を見込んで販売を強化すべく取り組んでまいりました新サービス(「Firewall24+」、「ネットビジネス安心プラン」等)や新規取扱い製品の販売立ち遅れにより5,840百万円(前回予想比460百万円の減少)となる見込みであります。

経常利益は、上記減収要因を吸収すべく原価低減に努めたものの、販売強化のために実施した営業要員の増強や広告宣伝、技術要員の営業サポート等の販売費の増加により、180百万円(前回予想比180百万円の減少)となる見込みであります。なお、経常利益減少の大半は、販売費増加によるもので、これにより販売体制は整いました。

当期純利益は、経常利益の減少により150百万円(前回予想比170百万円の減少)となる見込みであります。

3. 今期（平成 18 年 12 月期）の取り組み

前期（平成 17 年 12 月期）は前年同期に比べ増収増益を確保することができましたが、修正理由に記載のとおり、残念ながら業績予想の修正を行うこととなりました。

今期は前期の反省を踏まえ、顧客ニーズを的確に捉えた販売拡大政策を実施してまいります。

各既存サービスは前年同期比で伸びているものの、新規に取り組んだ新サービスを市場に浸透させきれず、更なる売上伸長に貢献できなかった点は、販売面での大きな反省点であります。その新サービスに関しては、明確になった市場動向に対応した販売戦略を組み立て、推進いたします。

更に、収益基盤を增強すべく、セキュリティ監視サービスや年間サポート契約によるストックビジネスの拡大に努めてまいります。

今期は社会的にも一層注目されるようになってきたネットワークセキュリティ事業において、当社の特徴をより鮮明に打ち出し、当社のビジネス基盤、及び社会基盤としてのモデル確立を目指してまいります。

（注）当資料に記載する業績予想・見込みは、現時点において入手可能な情報に基づき、独自の判断により作成しておりますが、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります、実現を保証するものではありません。

以 上